

○ 今後の充実・改善

医療機関・薬局等関連施設と連携した教育・研究体制を拡充するため、本学附属病院を始めとする近隣の基幹病院及び調剤薬局との連携をいっそう深める必要がある。

教員の教育及び研究能力の維持・向上を目的として、平成25年度から隔月で開催している薬学教育・研究談話会の継続実施や、研究科FD委員会を中心とした共同研究の推進、外部資金獲得の推進などの取り組みをさらに進める。その他、毎年全学的に実施される教員評価に基づき、各教員がPDCAサイクルにより自身の資質向上に向けて引き続き努力していく必要がある。

収容定員を充足させるために、学部学生に対するガイダンスの充実をはかっていく。また、優秀な人材を確保するために、本学薬学部を卒業後、博士課程に進学し、修了後、本学教員を志望する者を対象として設置した薬学教育・研究者育成奨学生制度のさらなる活用をすすめていく。社会人入学者を増やすためには、社会に対する大学院4年制博士課程の教育目標、学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針の広報活動を強化していく必要がある。

一般入試対象大学院生に対しては、博士課程で研究を行い、研究成果を導き出すことは学位取得後、多様な医療提供施設や研究施設などにおいて、臨床研究や医療の発展に大きく寄与するものであることをより強くアピールして、入学を促す必要がある。

社会人大大学院生については、研究テーマが実務と密接に関連し、学位取得後、研究成果が実務に有効に活用されたり、更なる臨床研究の発展に寄与することをアピールして、より多くの社会人大大学院生の入学を促す必要がある。

なお、平成28年度に点検評価委員会を設置し、諸課題の抽出、改善計画、実行及び点検を行い、効果的に改善する体制を整えている。

- ・自己点検・評価を踏まえ、大学院4年制博士課程の教育・研究における今後の充実・改善に向けた方策や課題を記載すること
- ・大学院生の在籍状況(定員充足の状況、修了・退学率等)や修了後の進路状況を踏まえた方策や課題についても記載すること